



METROLOGIC INSTRUMENTS, INC.

**MS5100 Eclipse™ Series**  
**Installation and User's Guide**



注意: このページは空白にして下さい。

## 所在地

### 米国コーポレート本社

北米	Metrologic Instruments, Inc. 90 Coles Road Blackwood, NJ 08012-4683	Customer Service: 1-800-ID-METRO Tel: 856-228-8100 Fax: 856-228-6673 Email: info@metrologic.com Internet: www.metrologic.com
----	---	--

### ヨーロッパ本部

ドイツ、 中近東およびアフリカ	Metrologic Instruments GmbH Dornierstrasse 2 82178 Puchheim b. Munich, Germany	Tel: +49 (0) 89 89019 0 Fax: +49 (0) 89 89019 200 Email: info@europe.metrologic.com
スペイン	Metrologic Eria Ibérica SL Julián Camarillo, 29 D-1 Edificio Diapasón 28037 Madrid	Tel: +34 913 272 400 Fax: +34 913 273 829 Email: info@es.metrologic.com
イタリア	Metrologic Italia Srl Via Emilia 70 40064 Ozzano dell'Emilia (BO)	Tel: +39 0 51 6511978 Fax: +39 0 51 6521337 Email: info@it.metrologic.com
フランス	Metrologic Eria France SA 69 Rue de la Belle Etoile ZI Paris Nord II, BP 50057 95947 – ROISSY CDG CEDEX	Tel: +33 (0) 1 48.63.78.78 Fax: +33 (0) 1 48.63.24.94 Email: info@fr.metrologic.com
英国	Metrologic Instruments UK Limited 58 Tempus Business Centre Kingsclere Road, Basingstoke Hampshire RG21 6XG	Tel: +44 (0) 1256 365900 Fax: +44 (0) 1256 365955 Email: info@uk.metrologic.com

### アジア

シンガポール	Metrologic Asia (Pte) Ltd No.8 Kaki Bukit Place 4 <sup>th</sup> Floor Singapore 416186	Tel: 65-842-7155 Fax: 65-842-7166 Email: info@sg.metrologic.com
中国	Metro (Suzhou) Technologies Co., Ltd. 221 Xing Hai Street Suzhou Industrial Park Suzhou, China 215021	Tel: 86-512-2572511 Fax: 86-512-2571517 Email: info@cn.metrologic.com
日本	メトロロジック・ジャパン株式会社 東京都台東区東上野三丁目 1 4 番 8 号 〒110-0015	Tel: 81-3-3839-8511 Fax: 81-3-3839-8519 Email: info@jp.metrologic.com

### 南米

ブラジル	Metrologic do Brasil Ltda. Rua da Paz 2059 CEP 04713-002 Chácara Santo Antônio São Paulo, SP, Brasil	Tel: 55-11-5182-8226 Fax: 55-11-5182-8315 Email: info@br.metrologic.com
ブラジル	Metrologic South America Rua da Paz 2059 CEP 04713-002 Chácara Santo Antônio São Paulo, SP, Brasil	Tel: 55-11-5182-7273 Fax: 55-11-5182-7198 Email: info@sa.metrologic.com

## 著作権

© 2002 by Metrologic Instruments, Inc. により著作権は保有されています。書評家が書評にて簡潔な一節を引用するか、もしくは 1976 年の著作権法の規定に記載されている以外は、事前の書面による承諾なしにこの著作の一部をどのような形式であれ、任意の手段によって再生、送信、保持することはできません。

本書に記載の製品名および商標名はそれぞれの会社の登録商標です。

## 目次

---

まえがき	1
アクセサリとサプライ	2
クイック・スタート	4
標準的なスキャナの取り付け	6
キーボード・インターフェース・スキャナの取り付け	8
USB スキャナの取り付け	10
スキャナから PowerLink ケーブルを取り外す	11
スキャナ部品	12
音声表示	14
視覚表示	15
失敗モード	16
読取範囲	17
ラベル	18
トラブルシュート・ガイド	19
RS-232 デモンストレーション・プログラム	23
メンテナンス	23
付録 A	
仕様	24
付録 B	
デフォルト設定	26
付録 C	
スキャナのピン・アサインメント	33
ケーブルのコネクタ構成	34
付録 D	
保証とクレーム排除	37
付録 E	
通知	38
付録 F	
特許	40
インデックス	41

## まえがき

---

MS5145 Eclipse™ はシングル・ラインのハンドヘルド・レーザー・スキャナです。

Eclipse™はメトロロジック社のパテント製品である CodeGate®機能を特色としています。CodeGate 機能はボタン一つの簡単な操作でバーコードを読み取り、そのデータを容易に送信します。Eclipse™はメニュー読取、POS、ドキュメント処理、在庫管理等を含むすべてのアプリケーションに理想的な読取システムです。

MS5145 Eclipse™ はメトロロジック社の最高の読取技術を内部に搭載しており、通常のCCDスキャナと比べて、読取距離が長く、幅広い読取範囲を持っています。スキャナをバーコードから遠く離せば離すほど読取ラインの幅は広がり、レーザー光をバーコードに沿って容易にライン・アップできます。また、スキャナがバーコードを感知(CodeSense™ モード)すると、レーザー光は自動的に読取モードに切り替わり、CodeGate 機能が働き、高速で正確な読取を可能にします。

本商品にはユーザが交換可能な PowerLink ケーブル、Bits 'n' Pieces™ データ編集と、ユーザーが使い易い MetroSelect™ プログラム、または Windows をベースとした MetroSet 2 設定ユーティリティが標準として搭載されています。

Eclipse™	インターフェース
MS5145-9*	OCIA*
MS5145-11*	IBM 468X/469X*
MS5145-41	Full RS-232/ライトペン・エミュレーション
MS5145-37	USB/キーボード・インターフェース

\* 本マニュアルの印刷時、スキャナの OCIA と IBM バージョンはまだ準備できていませんでした。

## アクセサリとサプライ

---

下記は MS5145 キットに含まれている（含まれていない場合もある）パーツのリストです。

- **Eclipse™ MS5145** シングル・ライン・レーザー・スキャナ
- **AC アダプタ** – 調整出力 5.2VDC @ 650 mA
  - 下記のどちらかが入っています。
    - 120 V 米国仕様 [ MLPN 45-45593 ]
    - 220 V - 240 V ヨーロッパ大陸仕様 [ MLPN 45-45591 ]
    - 220 V – 240 V 英国仕様 [ MLPN 45-45592 ]
- **PowerLink ケーブル**
  - 下記のどちらかが入っています。
    - RS232 ケーブル：パワー・ジャック内臓の長いストレート・リリーフ付 2.1m (7') ストレート・コード [ MLPN 55-55000A ]
    - AT/PS2/XT キーボード・ケーブル：パワー・ジャック内臓の長いストレート・リリーフ付 2.4m (8') ストレート・コード [ MLPN 55-55002A ]
    - PS2 キーボード・ケーブル：パワー・ジャック内臓の長いストレート・リリーフ付 2.4m (8') ストレート・コード [ MLPN 55-55142A ]
    - PS2 キーボード・ケーブル：パワー・ジャックを内臓していない長いストレート・リリーフ付 1.5m (5') ストレート・コード [ MLPN 55-55166A ]
    - ノートブック設定ケーブル：パワー・ジャック内臓の長いストレート・リリーフ付 2.1m (7') ストレート・コード [ MLPN 55-55020A ]
    - ノートブック設定ケーブル：パワー・ジャックを内臓していない長いストレート・リリーフ付 1.5m (5') ストレート・コード [ MLPN 55-55164A ]

- USB ケーブル: パワー・ジャックを内臓していない長いストレージ・リリーフ付 1.5m (5') ストレート・コード [ MLPN 55-55165A ]

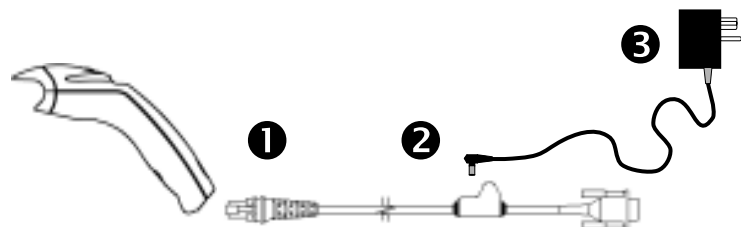
- **取付およびユーザ・ガイド** [ MLPN 70-79001 ]

- **MetroSelect® シングル・ライン設定ガイド** [ MLPN 00-02544 ]

特定プロトコールに使用される他の項目も注文できます。追加注文の際は、メトロロジック・ジャパン（株）にご連絡ください。

## クイック・スタート

1. 10ピンRJ45プラグをEclipse™ MS5145のジャックに接続してください。接続したら「クリック」音が聞こえます。
2. ACアダプタのL型プラグをPowerLinkケーブルのジャックに接続してください。
3. ACアダプタをコンセントに接続してください。その際、ACアダプタの電圧がコンセント電源と同じであることを確認してください。



(下記の注意を参照のこと)

4. MS5145が使用可能になれば緑色のLEDが点灯し、赤色のLEDが点滅してスキャナに一回ブザー音が鳴ります。



5. MS5145の動作は自動的です。レーザー光は断続的にパルスを発しています。通常のパルス操作の間は緑色のLEDが点灯し、パワー・セーブ・モードの時はそれが点滅します。

### 動作テスト

6. バーコードを読取窓の前に置き、点滅しているレーザー光をバーコードに向けて、CodeGate™ ボタンを押します。バーコードが正常に読取られたらスキャナに一回ブザー音が鳴り、赤色のLEDが点滅します。



7. スキャナは初期設定にプログラムされて工場を出荷されます。ホスト・システムに特別なインターフェースの要求がある場合はMS5145スキャナをプログラムする必要があります。その際は、プログラム・ガイドか顧客設定ガイドにあるスキャナ初期設定の変更方法を参照してください。



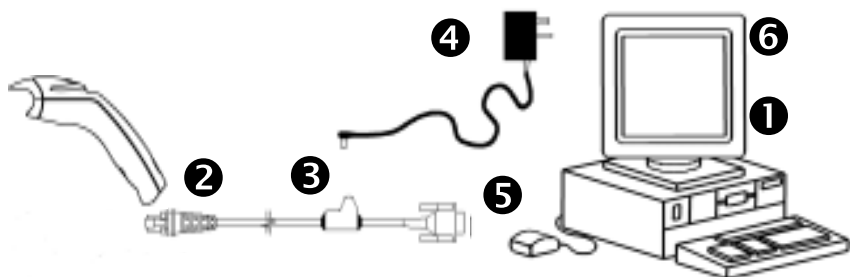
**注意:**



連邦規定の 21 CFR, パート 1040.10, セクション (f)(6)に準拠するためには、スキャナをコンセントに差し込む際、その電源スイッチはユーザの手の届くところにあるか、または接続するホスト・システムがスキャナの電源を切れるスイッチを備えている必要があります。

## 標準的な RS232 スキャナの取り付け

1. ホスト・システムの電源を切ってください。
2. PowerLink ケーブルの 10 ピン RJ45 プラグを MS5145 の RS232 スキャナに接続します。  
  
注意: MS5145 がホスト・システムから電源を受けている場合、ステップ #5 にスキップしてください。(下記の「注意」を参照のこと\*)
3. AC アダプタの L 型プラグを PowerLink ケーブルのジャックに差しこんでください。(下記の「注意」を参照のこと\*\*)
4. パワー供給の AC 入力条件がコンセントの電圧と同じであることを確認してください。AC アダプタをコンセントに接続してください。
5. PowerLink ケーブルをホスト・システムのポートに差しこんでください。
6. ホスト・システムの電源を ON にしてください。



7. MS5145 の読取り準備ができたなら、緑色の LED が点灯し、赤色の LED が点滅し、スキャナは一回ブザー音を鳴らします。

### 動作注意:

スキャナとホスト・システムのインターフェースが同じでない場合は、スキャナをホストのポートに接続しても読取られたデータが適切にホストに送信されるという保証はありません。スキャナとホスト・システムの通信方法を正しく設定する必要があります。

#### 注意:



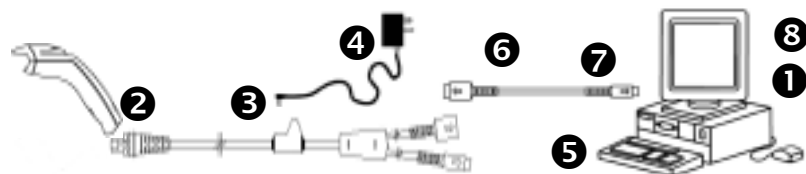
適用するスタンダードに従順するためには、スキャナに接続される回路はすべて EN 60950 に準拠した SELV (特別低安全電圧) の必要条件を満たす必要があります。

\*適用する CSA C22.2 No. 950/UL 1950 とノーム EN 60950 のスタンダードに従順するためには電力供給源は限定された電力供給のパフォーマンスの必要条件を満たす必要があります。

\*\*連邦規定 21 CFR, パート 1040.10, セクション (f)(6)に準拠するためには、スキャナをコンセントに差し込む際、その電源スイッチはユーザの手の届くところにあるか、または接続するホスト・システムがスキャナの電源を切れるスイッチを備えている必要があります。

## キーボード・インターフェース・スキャナの取り付け

1. ホスト・システムの電源を切ってください。
2. PowerLink ケーブルの 10 ピン RJ45 プラグを MS5145 の RS232 スキャナのジャックに接続します。
3. キーボードをホスト・システムから取り外します。
4. AC アダプタの L 型プラグを PowerLink ケーブルのジャックに差しこんでください。 (9 ページの「動作注意」と「注意」を参照のこと\*\*)
5. AC アダプタの L 型プラグを PowerLink ケーブルのジャックに差しこんでください。 (9 ページの「注意」を参照のこと\*\*)
6. PowerLink “Y”ケーブルは末端の一方に 5 ピン DIN メス・コネクタがついており、他方に 6 ピン・ミニ DIN オス・コネクタがついています。メトロロジック社は 5 ピン DIN オス・コネクタが一方に、6 ピン・ミニ DIN メス・コネクタが他方についているアダプタ・ケーブルを支給しています。アダプタ・ケーブルの適切な末端を PowerLink “Y” ケーブルに接続し、必要な末端をそのままにしておき、キーボードとホストのキーボード・ポートに接続する用意をします。
7. PowerLink “Y” ケーブルをキーボードとホスト・システムのキーボード・ポートに接続してください。



8. ホスト・システムの電源を ON にしてください。
9. MS5145 の読取り準備ができたら、緑色の LED が点灯し、赤色の LED が点滅し、スキャナは一回ブザー音を鳴らします。

## キーボード・インターフェースの取り付け (続き)

### 動作注意

ホスト・システムのキーボード・ポートから十分な電圧が供給されていない場合は MS5145 キーボード・インターフェース用の外付け AC アダプタが必要となります。MS5145 をコンピュータのキーボード・コネクタから直接電源を入れた場合、スキャナもしくはコンピュータの作動に電波障害が起きることがあります。すべてのコンピュータはキーボード・ポートから同一の電圧を供給しているわけではありません。従って、あるコンピュータではスキャナが作動しても、他のコンピュータでそれが作動するとは限りません。(下記の「注意」を参照してください。)

#### 注意:



適用するスタンダードに従順するためには、スキャナに接続される回路はすべて EN 60950 に準拠した SELV (特別低安全電圧)の必要条件を満たす必要があります。

\*適用する CSA C22.2 No. 950/UL 1950 とノーム EN 60950 のスタンダードに従順するためには電力供給源は限定された電力供給のパフォーマンスの必要条件を満たす必要があります。

\*\*連邦規定 21 CFR, パート 1040.10, セクション (f)(6)に準拠するためには、スキャナをコンセントに差し込む際、その電源スイッチはユーザの手の届くところにあるか、または接続するホスト・システムがスキャナの電源を切れるスイッチを備えている必要があります。

注意: AC アダプタの L 型プラグのセンター極はマイナス ( - ) です。 .

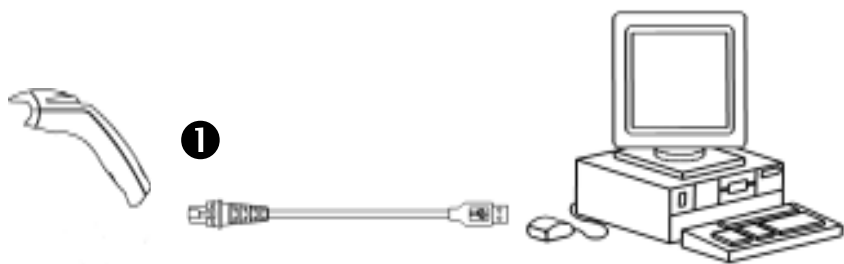
## USB スキャナの取り付け

---

1. PowerLink ケーブルの 10 ピン RJ45 プラグ を MS5145 USB スキャナのジャックに接続してください。

*注意: MS5145 は直接ホスト・システムから電源をとっていますので、外付けの AC アダプタは不要です。*

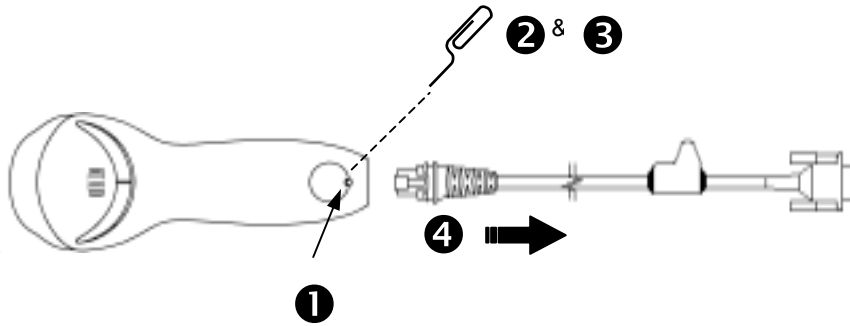
2. PowerLink ケーブルの USB コネクタをホスト・システムの USB ポートに差しこんでください。



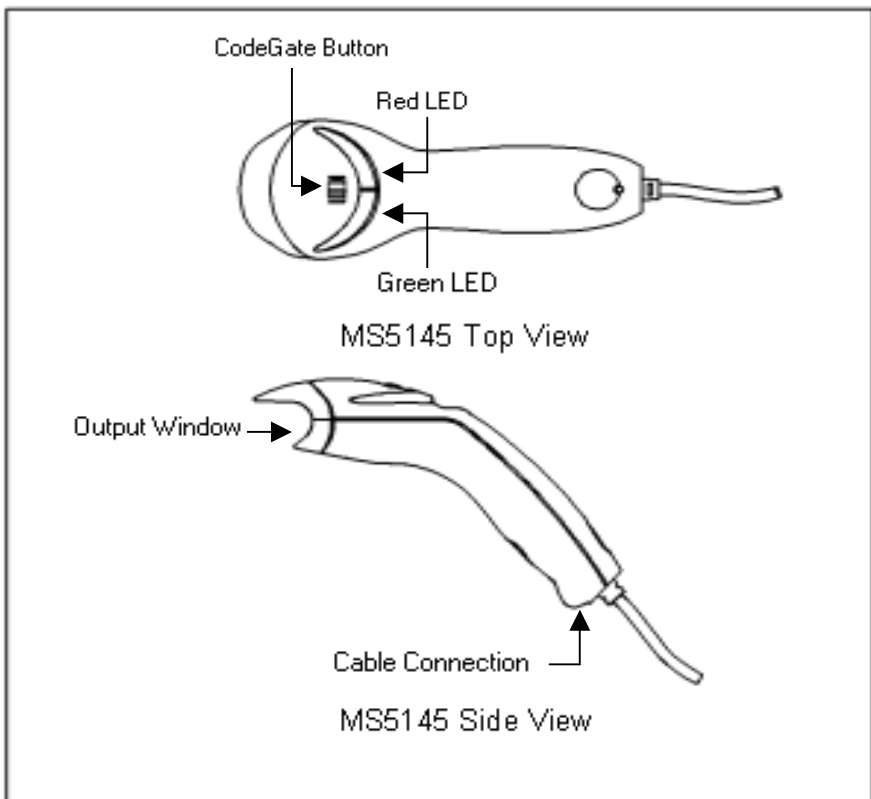
3. MS5145 の読取準備ができたなら、緑色の LED が点灯し、赤色の LED が点滅してスキャナが一回ブザー音を鳴動します。

## スキャナから POWERLINK ケーブルを取り外す

スキャナからケーブルを取り外す前に、ホスト・システムの電源を切り PowerLink ケーブルにパワーが供給されていないことを確かめるように Metrologic 社はお勧めします。



1. スキャナの上面上にある小さなピン穴を見つけてください。
2. 普通のクリップを上図に示すような形に曲げてください。
3. クリップ（または他の小さな金属のピン）を小さなピン穴に挿入します。
4. かすかな「クリック」音が聞こえたら、PowerLink ケーブルのストレイン・リリーフ部を緩やかに引けばスキャナはずり出てきます。



### 1. 緑色と赤色のLED

MS5145のレーザー光をバーコードに当てていない時は、レーザー光は断続的にパルスを発し、バーコードを感知した時にレーザー光は点灯状態となります。通常のパルス時と読取動作の時に緑色のLEDは点灯し続け、パワー・セーブ・モードの時はそれが点滅します。バーコードを正常に読取った時には赤色のLEDが点滅し、スキャナは一回ブザー音を鳴動します。二つのLEDは診断表示とモード表示の時にも使われます。

### 2. レーザー光ウィンドウ

レーザー光はこの窓から発せられています。

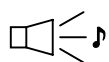


### 3. PowerLink ケーブル

PowerLink ケーブルの 10 ピン・モジュラ・プラグを MS5145 の 10 ピン・モジュラ・ジャックに差し込みます。

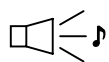
## 音声表示

MS5145 スキャナの操作中に音声表示のフィードバックを行います。これらのブザー音はスキャナの状態を示すものです。8種類(通常の音、6種類の交互音、およびブザー音なし)の設定が可能です。ブザー音の変更は設定ガイドを参照してください。



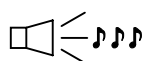
### パワーアップの時の1回のブザー音

スキャナに最初にパワーが入った時、緑色のLEDが点灯し、赤色のLEDが点滅してスキャナは一回ブザー音を鳴動します。これで読取の準備ができました。



### 作動中に1回のブザー音

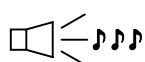
スキャナがバーコードを正常に読取ったら赤色のLEDが点滅し、スキャナは一回のブザー音を鳴動(設定がそのようにプログラムされていた場合)します。スキャナがブザー音も鳴らさず、赤色のLEDも点灯しない場合、バーコードは正常に読取られていません。



### 作動中に3回のブザー音

プログラム・モードに入った時、スキャナは3回のブザー音を鳴動して赤色のLEDを点滅します。赤色のLEDはプログラム・モードを出るまで点滅状態を続け、プログラム・モードを出た時、スキャナは3回ブザー音を鳴動し赤色のLEDは点滅しなくなります。

スキャナが通信タイムアウトに設定されている場合、作動中における3回のブザー音の鳴動は通信タイムアウトを表示するものです。



### パワーアップの時の3回のブザー音

これは失敗の表示です。本マニュアルの16ページにある「失敗モード」を参照してください。



### 異常音

これは失敗の表示か、あるいはプログラム・モードの時の無効コードです。本マニュアルの16ページにある「失敗モード」を参照してください。

## 視覚表示

MS5145 の上面に赤色と緑色の LED が二つ付いています。スキャナが ON の時、LED は現在の読取状態とスキャナの状態を表示します。



### 緑色と赤色の LED が OFF の時

スキャナにホストや AC アダプタからパワーを受けていない時には LED は点灯しません。



### 一定した緑色

これは通常のパルスもしくは連続レーザー光の作動を表示します。異常音がそれに伴う場合、読取ったバーコードが無効であることを表示します。



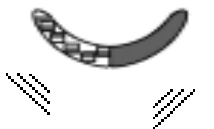
### 点滅する緑色

しばらくバーコードを読取らない場合、レーザー光のパルスの間隔時間は短くなります。その場合、緑色の LED が点滅します。これはスキャナがパワー・セーブ・モードに入っていることを表示します。バーコードがレーザー光の読取範囲の中に再び入った場合、スキャナは活動し始め再び通常のパルス・モードとなります。



### 一定の緑色と1回の赤色の点滅

スキャナがバーコードを正常に読み取った場合は、赤色の LED が点滅してスキャナがブザー音を鳴動します。赤色の LED が点滅もせず、スキャナもブザー音を鳴動しない場合は、バーコードは正常に読取られていません。



### 一定の緑色と一定の赤色

バーコードが正常に読取られた後、スキャナはデータをホスト装置に転送します。ある種の通信モードでは、データの受信準備ができているかどうかホストがスキャナに通知する必要があります。ホストがデータの受信準備ができていない場合、データ送信が終了するまで赤色の LED が点灯したままになっています。



### 一定の緑色と連続的に点滅する赤色

プログラム・モードに入っている場合は、赤色の LED が点滅し緑色の LED が点灯してスキャナは3回ブザー音を鳴動します。赤色の LED は連続的に点滅し、緑色の LED はプログラム・モードから出るまで点灯状態を続けます。



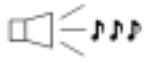
### パワーアップの際、1回の異常音

これはスキヤナのレーザー光か回転軸のサブ・システムに不具合が生じたことを示します。修理が必要ですので、メトロロジック・ジャパン（株）にユニットを返送してください。



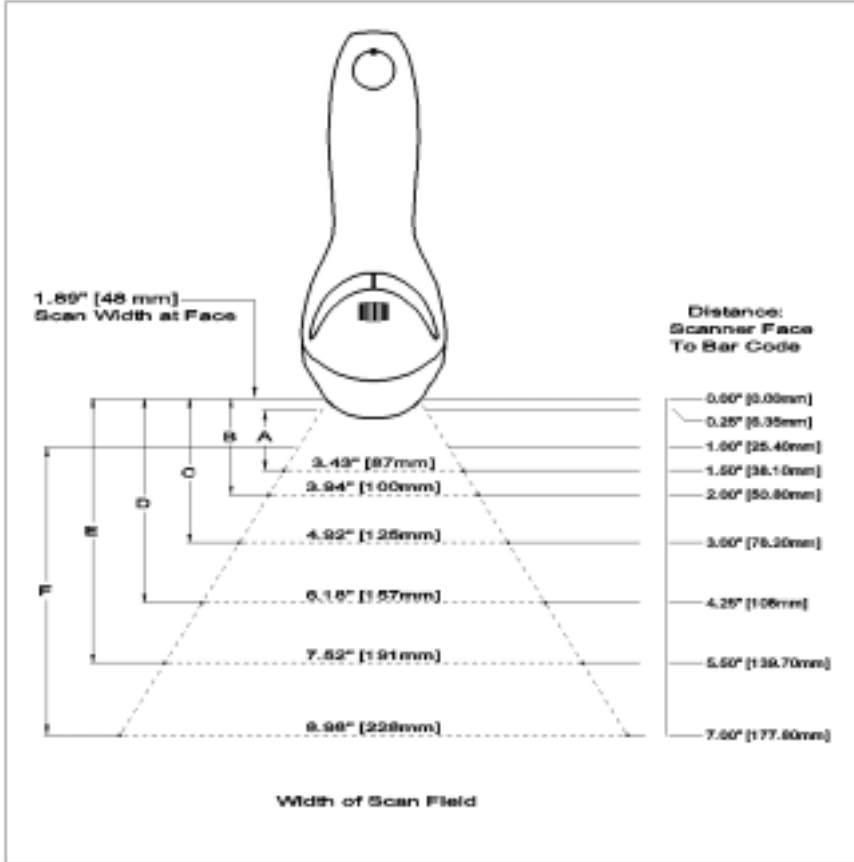
### 連続的な異常音とすべてのLEDがOFF

パワーアップした後、スキヤナが連続的な異常音を発している場合はスキヤナ自体に電子的な不具合が生じています。修理が必要ですので、メトロロジック・ジャパン（株）にユニットを返送してください。



### パワーアップの際、3回のブザー音

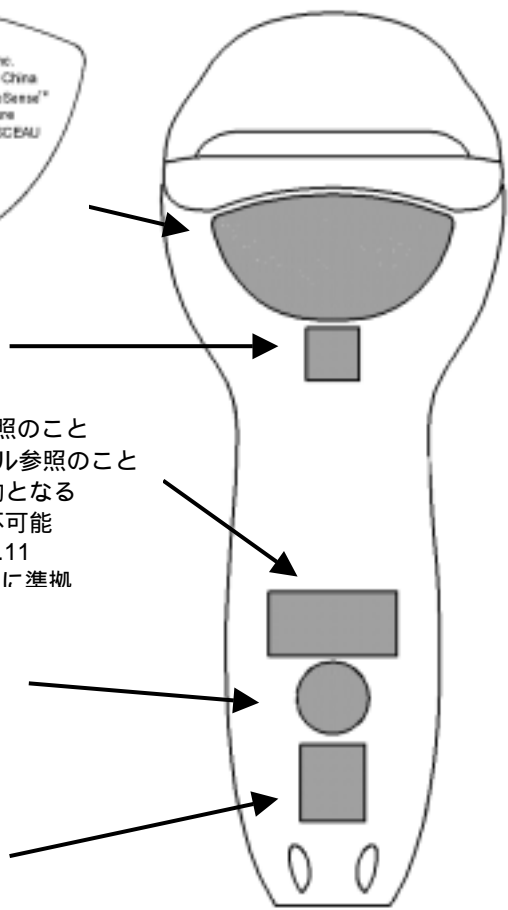
パワーアップした後、スキヤナが3回ブザー音を鳴動する場合、スキヤナ設定を保持している不揮発性メモリ (NovRAM) に不具合が生じています。修理が必要ですので、メトロロジック・ジャパン（株）にユニットを返送してください。



最小バーコード・エレメント幅						
	A	B	C	D	E	F
mm	.10	.12	.17	.26	.33	.66
mils	4.1	4.8	6.8	10.4	13	26

## ラベル

スキャナの裏側にラベルがついています。ラベルには、モデル番号、製造日付、シリアル番号、レーザー光と警告の情報が記載されています。下記はラベルの一例です。



パテント情報：マニュアル参照のこと  
 FCC と ICES-003 情報：マニュアル参照のこと  
 ケースを開けると保証は無効となる  
 ユーザーが勝手に修理は不可能  
 21 CFR 1040.10 & 1040.11  
 IFC: 60825-1-1993+A2-2001 に準拠



5V CE



### Top View

EVITER TOUTE EXPOSITION—Lumière laser émis par cette ouverture  
 AVOID EXPOSURE—Laser light is emitted from this aperture



症状	起こりうる原因	解決方法
LED、ブザー音、レーザー光なし	スキャナにパワーが供給されていない	AC アダプタ、コンセント、パワープラグ等をチェックし、ケーブルがスキャナに差し込まれているか確かめる
LED、ブザー音なし	スキャナにパワーが供給されていない	ホストが MS5145 を起動するに十分な電流を供給できない。AC アダプタが必要
パワー・アップの際、3 回のブザー音	不揮発性 RAM の不具合	ユニットがプログラムされた設定を保持しない場合、メトロロジック・ジャパン（株）に連絡
パワー・アップの際の連続的異常音が出る	RAM か ROM の不具合	メトロロジック・ジャパン（株）に連絡
パワー・アップの際の異常音	VLD の不具合かスキャナ回転軸の不具合	メトロロジック・ジャパン（株）に連絡
ユニットは読取、通信するが 2 回のブザー音	同一シンボル・タイムアウト時間が短すぎる	同一シンボル・タイムアウト時間をより長く調整する
ユニットはパワー・アップするがブザー音がない	ブザー音が無効になっているか、音調が選択されていない	ブザー音を有効にして音調を選択する

## トラブルシュート・ガイド (続き)

症状	起こりうる原因	解決方法
ユニットはパワー・アップするが読取らない	無効になっているバーコードを読取ろうとしている	UPC/EAN, Code 39, Interleaved 2 of 5, Code 93, Code 128 と NW7 がデフォルトで有効。読取るコード体系がデフォルトに選択されているか確認する
ユニットはパワー・アップするが、読取せずブザー音もない	スキャナはキャラクタ長ロック、あるいは最小の長さにプログラムされていて読取コードがプログラムの基準に入っていない	読取コード(特に UPC/EAN 以外)が基準に合うかどうか確認する。スキャナは最小3桁のバーコードがデフォルトとなっている
ユニットはバーコードを読取るが1回目の読取後ロックする。赤色の LED は点灯したまま	スキャナはホストのハンドシェイク形式をサポートするように設定されており、信号を受信していない	スキャナが ACK/NAK、RTS/CTS、XON/XOFF) か D/E をサポートするように設定されている場合、ホストとホスト・ケーブルが適切にハンドシェイクをサポートしているかどうか確認する
ユニットは読取るがホストに転送されるデータが正しくない	スキャナのデータ・フォーマットがホストの条件と合っていない	スキャナのデータ・フォーマットがホストの要求するものと一致するか確認する。スキャナが適切なホストのポートに接続されているか確かめる
スキャナは或るバーコードではブザー音を出すと同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	バーコードの印刷品質に問題がある  または バーコードの縦横比の公差が仕様以外である	印刷モードをチェックする。プリンタに問題がある。印刷設定を変更する。例えば、econo モードや高速モードに変更してみる



## トラブルシュート・ガイド (続き)

症状	起こりうる原因	解決方法
スキャナは或るバーコードではブザー音を出す が同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	バーコードが仕様通りに印刷されていない	チェック・ディジットか、キャラクタか、あるいはクワイエット・ゾーンの問題であるか確認する
スキャナは或るバーコードではブザー音を出す が同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	スキャナはこのタイプのバーコードに対しては正確に設定されていない	チェック・ディジットが適切に設定されているかどうか確認する
スキャナは或るバーコードではブザー音を出す が同じコード体系でも他のバーコードにはブザー音が出ない	コード体系の最小データ長が設定されたバーコードが読取れない	最小データ長が正確に設定されているかを確認する
ユニットはバーコードを読取る がデータが出ない	正確な設定がされていない	スキャナが適切な通信モードに設定されているか確認する
ユニットはバーコードを読取る がデータが正しくない(キーボード・インターフェース)	正確な設定がされていない	適切な PC タイプ ( AT, PS2 または XT ) が選択されているか確認する。正しい国コードとデータ・フォーマットを確認する。インターキャラクタ・ディレーを調整する

## トラブルシュート・ガイド (続き)

症状	起こりうる原因	解決方法
ユニットは各キ ャラクタを転送 しない(キーボ ード・インター フェース)	正確な設定がされて いない	インターキャン・コード・ ディレーを長めにする。F0 ブ レークが転送されているか調 整する。この両方の設定を試 す必要がある
アルファベットの キャラクタが 小文字になる (キーボード・ インターフェ ース)	コンピュータが Caps Lock モードになっ ている	スキャナの Caps Lock 検知設 定を有効にして、PC が Caps Lock で動作しているか検知す る
すべて動作する が、2, 3のキ ャラクタに問題 がある(キーボ ード・インター フェース)	その国のキー・ルッ ク・アップ表にその問 題のあるキャラクタは サポートされていない 可能性がある	スキャナを Alt モードで作動し てみる
パワー・アッ プ、読取はOK しかしホストと 適切に通信しな い	ホストの Com ポートが 作動しないか、正しく 設定されてない。また はケーブルが適切な com ポートに接続され ていない	スキャナおよび通信ポートの ボーレート、データ長、スト ップ・ビット、パリティ等が 合っているか、また、プログ ラムは“RS-232” データを要求 しているか確かめる
ホストはデー タを受信するが、 データが正確で ないように思え る	スキャナとホストは同 じインターフェースに 設定されていない	スキャナとホストは同じイン ターフェースに設定されてい るか確認する
キャラクタが桁 落ちする	スキャナは十分なイン ターキャラクタ・ディ レーを設定していない	MetroSelect プログラム・ガ イド MLPN 2407 を使って転送 出力キャラクタにインターキ ャラクタ・ディレーを加えて みる

## RS-232 デモンストレーション・プログラム

---

IBM コンパチの PC と RS-232 スキャナが通信しない場合、通信ポートとスキャナが作動するかどうか確かめるために、次の BASIC プログラムをキー・インしてテストして下さい。このプログラムはデモ用のみに作られたものです。ケーブルの接続は正しいか、com ポートは作動しているか、また、スキャナもちゃんと作動しているかを確かめるために意図され作られました。このプログラムを使っている際にバーコードのデータがスクリーン上に表示されている時はハードウェア・インターフェースとスキャナは正常に作動しています。この時点でアプリケーション・ソフトとスキャナ設定が合っているか調べて下さい。アプリケーションが RS-232 スキャナをサポートしていない場合、RS-232 データをキーボード・バッファに取り入れるソフト・インターフェースのプログラムが必要です。このプログラムは RTS-CTS、データ・セット・レディー(DSR)およびデータ・キャリア・ディテクト(DCD)信号等を無視するように PC に命令します。デモ・プログラムは正常に働くがあなたのプログラムがうまく作動しない場合、PC の後側についている RTS と CTS、データ・ターミナル・リーディング(DTR) と DCD・DSR をジャンパーして下さい。

```
10 CLS
20 ON ERROR GOTO 100
30 OPEN "COM1:9600,S,7,1,CS0,DS0,CD0,LF" AS #1
35 PRINT "SCAN A FEW BAR CODES"
40 LINE INPUT #1, BARCODE$
50 PRINT BARCODE$
60 K$ = INKEY$: IF K$ = CHR$(27) THEN GOTO 32766
70 GOTO 40
100 PRINT "ERROR NO. "; ERR; " PRESS ANY KEY TO TERMINATE."
110 K$ = INKEY$: IF K$ = "" THEN GOTO 110
32766 CLOSE: SYSTEM
32767 END
```

## メンテナンス

---

汚れやごみはバーコードの正常な読取の妨げになりますので、レーザー光ウィンドウを時々きれいに清掃する必要があります。

1. ガラス・クリーナーを無リント非研磨剤クリーニング・クロスにスプレーします。
2. スキャナ・ウィンドウを柔らかく拭いてください。

## 付録 A

### 仕様

動作仕様	
光源	VLD 650 nm ± 10 nm
レーザー・パワー	1.0 mW (ピク) 以下
読取深度 (13mil のデフォルト)	0 mm – 140 mm (0" – 5.5")
読取速度	72 ± 2 回スキャン / 秒
読取パターン	シングル・スキャン・ライン
最小バー幅	0.102 mm (4.0 mil)
デコード能力	すべての標準バーコードはマルチリード。他のコード体系は Metrologic 社へ連絡ください
システム・インターフェース	RS232、キーボード・インターフェース、ライトペン・エミュレーション、IBM 468X/469X、OCIA、ノートブック設定、USB
PCS 値	35%
読取桁数	最大 80 桁データ・キャラクタ (最大の桁数はコード体系と密度により変化する)
回転、ピッチ、首振	42°, 68°, 52°
ブザー音	7 種類およびブザー音なし
表示 (LED)	緑色 = レーザーが ON、読取準備 OK 赤色 = 正常読取
機械的仕様	
長さ	170 mm (6.7")
ハンドル幅	39 mm (1.5")
ヘッド幅	63 mm (2.5")
ヘッド高さ	35 mm (1.4")
ハンドル高さ	31 mm (1.2")
重量	97 g (3.4 oz)
ケーブル	ストレイン・リリーフ付き PowerLink ケーブル (2 ページを参照のこと)

付録 A (続き)

電氣的仕様	
入力電圧	5 VDC ± 0.25 V
動作中のパワー	0.675 mW
動作中の消費電流	135 mA peak @ 5 VDC
DC 変圧器	クラス 2; 5.2 V @ 650 mA
UL	米国とカナダで UL に登録 UL 60950, C22.2 No. 60950
レーザー・クラス	CDRH: クラス II; IEC 60825-1: 1993+A1:1997+A2:2001 クラス 1
EMC	クラス B: FCC パート 15, ICES-003, ヨーロッパ大陸
環境条件	
動作温度	0°C to 40°C (32°F to 104°F)
保存温度	-40°C to 60°C (-40°F to 140°F)
湿度	5% to 95% 相対湿度、結露なし
許容背景光	最大 4842 ルクス (450 フィート燭光)
衝撃	1.5 m (5') 落下に耐久設計
汚染物質	空気上の汚染物質に対抗するシール密閉
換気装置	必要なし

## 付録 B

### デフォルト設定

スキャナの多くの機能は許可・禁止プログラムが出来ます。スキャナは工場から出荷時にデフォルトであらかじめプログラムされていて、スキャナのデフォルト・パラメータは下記の図表に星印(\*)で表示されています。星印がデフォルト欄についていない場合、デフォルト設定はオフか、禁止となります。すべての通信がすべてのパラメータをサポートするとは限りません。通信が次ページの図表の中でリストされたパラメータをサポートする場合、チェック・マーク(✓)で示されています。

パラメータ	Default	OCIA	RS232	Light Pen	IBM 46XX	KBW	USB
通常読取モード (点滅)	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
連続読取モード		✓	✓	✓	✓	✓	✓
UPC/EAN	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-A	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
EAN-8	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
EAN-13	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-E	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Code 128	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Code 93	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
NW7	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
インターリブド 2 of 5 (ITF)	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ITF の MOD10 チェック		✓	✓	✓	✓	✓	✓
Code 11		✓	✓	✓	✓	✓	✓
Code 39	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Full ASCII Code 39		✓	✓	✓	✓	✓	✓
テレペン		✓	✓	As Code 39	✓	✓	✓
マトリックス 2 of 5		✓	✓	↑	✓	✓	✓
Airline 2 of 5 (13)		✓	✓	↑	✓	✓	✓
Airline 2 of 5 (15)		✓	✓	↑	✓	✓	✓
Dual NW7		✓	✓	↑	✓	✓	✓
DK Plessey		✓	✓	↓	✓	✓	✓
スタンダード 2 of 5		✓	✓	↓	✓	✓	✓
MSI Plessey		✓	✓	As Code 39	✓	✓	✓
2重ボーダー		✓	✓	✓	✓	✓	✓
最小ボーダー		✓	✓	✓	✓	✓	✓
Code 39 の MOD43 チェック		✓	✓	✓	✓	✓	✓
MSI-Pessey 10/10 チェック・ディジット		✓	✓	✓	✓	✓	✓
MSI-Plessey MOD 10 チェック・ディジット	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓

付録 B (続き)

パラメータ	Default	OCIA	RS232	Light Pen	IBM 46XX	KBW	USB
Paraf サポート ITF		✓	✓	✓	✓	✓	✓
ITF 桁数	可変	✓	✓	✓	✓	✓	✓
最小バーコード桁数	3	✓	✓	✓	✓	✓	✓
コード桁数ロック	なし	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Code 39 の時、 バーが高い	*			✓			
Code 39 の時、 スペースが高い				✓			
読取時、バー高				✓			
読取時、スペース高				✓			
低速度オプション				✓			
デコード・トグル				✓			
10x 細エレメント	*			✓			
50x 細エレメント				✓			
ライトペン・ソース				✓			
ブザー音調	通常 I	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ブザー音 / 送信 シーケンス	転送前	✓	✓	✓	✓		✓
通信タイムアウト	なし	✓	✓	✓	✓	✓	
タイムアウト時に 異常音		✓	✓	✓	✓	✓	
タイムアウト時に 3 回のブザー音		✓	✓	✓	✓	✓	
同一コード再スキャン・ タイムアウト 100 msec		✓	✓	✓	✓	✓	✓
同一コード再スキャン・ タイムアウト 200 msec		✓	✓	✓	✓	✓	✓
同一コード再スキャン・ タイムアウト 500 msec	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
同一コード再スキャン・ タイムアウト 1200 msec		✓	✓	✓	✓	✓	✓
同一コード再スキャン・ タイムアウト 2000 msec		✓	✓	✓	✓	✓	✓
同一コード・ タイムアウトなし		✓	✓	✓	✓	✓	✓
エキストラ同一 コード・チェック		✓	✓	✓	✓	✓	✓

通常の同一コード・ チェック	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
無限の同一コード・ タイムアウト		✓	✓	✓	✓	✓	✓
読取バッファ数 (最大)	2	✓	✓	✓	✓	✓	✓



付録 B (続き)

パラメータ	Default	OCIA	RS232	Light Pen	IBM 46XX	KBW	USB
1 msec ステップ(最大 255 msec) でプログラムできるインターキャラクタ・ディレ	1 msec 10 msec in KBW	✓	✓	✓	✓	✓	
UPC-A チェック・ディジット送信	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-E チェック・ディジット送信		✓	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-E を拡張		✓	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-A を EAN-13 に変換		✓	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-E に先頭「0」の送信		✓	✓	✓	✓	✓	✓
UPC-A のナンバー・システムの送信	*	✓	✓	✓	✓		✓
UPC-A の製造者 ID 番号を転送	*	✓	✓	✓	✓		✓
UPC-A のアイテム ID 番号を転送	*	✓	✓	✓	✓		✓
NW7 のスタート/ストップ・キャラクタの転送		✓	✓		✓		✓
CLSI 編集 (許可)		✓	✓		✓		✓
Mod 10/ITF の転送		✓	✓		✓		✓
MSI-Plessey の転送		✓	✓		✓		✓
パリティ	Space		✓		✓		
ボーレート	9600		✓				
8 データ・ビット			✓			✓	
7 データ・ビット	*		✓				
ストップ・ビット	2		✓			✓	
製造者 ID 番号			✓			✓	✓
スキャナ ID 番号			✓			✓	✓
Sanyo ID キャラクタの転送			✓			✓	✓
Nixdorf ID			✓			✓	✓
Aim ID			✓			✓	✓
Sineko ID			✓			✓	✓
Sni Beetle ID			✓			✓	✓
Tec ID			✓			✓	✓
NCR ID			✓			✓	✓
Rochford Thomson ID			✓			✓	✓
Family Dollar ID			✓			✓	✓

LRC 許可			✓			✓	✓
UPC 接頭詞			✓			✓	✓
UPC 接尾詞			✓			✓	✓

付録 B (続き)

パラメータ	Default	OCIA	RS232	Light Pen	IBM 46XX	KBW	USB
キャリッジ・リターン	*		✓			✓	✓
ラインフィード禁止 (キーボード・インターフェース)	*		✓				✓
Tab 接頭			✓				✓
Tab 接尾			✓				✓
"C" 接頭			✓				✓
"I" 接頭			✓				✓
STX 接頭			✓				✓
ETX 接尾			✓			✓	✓
"DE" コマンド禁止			✓				
"FL" レーザー・コマンド			✓				
DTR ハンドシェーク・サポート			✓				
RTS/CTS ハンドシェーク			✓				
キャラクタ RTS/CTS	*		✓				
メッセージ RTS/CTS			✓				
XON/XOFF ハンドシェーク			✓				
ACK/NAK			✓				
2 桁サブメント		✓	✓	As Code 39	✓	✓	✓
5 桁サブメント		✓	✓	As Code 39	✓	✓	✓
Bookland (978)		✓	✓	As Code 39	✓	✓	✓
977 (2 桁) サブメント要求		✓	✓	✓	✓	✓	✓
サブメント不要	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
2 桁・2 回一致	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
5 桁・2 回一致		✓	✓	✓	✓	✓	✓
ナンバー・システム 5 サブメント		✓	✓	✓	✓	✓	✓
FR. Bookland (378)		✓	✓	✓	✓	✓	✓
434/439 サブメント		✓	✓	✓	✓	✓	✓
100 msec ステップで (最大 800 msec) 100 msec 以内にプログラム可能なサブメントを見つける	*	✓	✓	✓	✓	✓	✓
プログラム可能な接頭キャラクタ	10 avail		✓			✓	✓

付録 B (続き)

パラメータ	Default	OCIA	RS232	Light Pen	IBM 46XX	KBW	USB
クーポン Code 128		✓	✓	As Code 39	✓	✓	✓
プログラム可能なコード長	7 avail	✓	✓	✓	✓	✓	✓
プログラム可能な接尾キャラクタ	10 avail		✓			✓	✓
各々のコード体系のキャラクタ			✓			✓	✓
プログラム可能なインター・スキャン・ディレー (100 μsec s ステップ)	800 μsec					✓	
Function/Control キーのサポート						✓	✓
5.6 μsec ステップでプログラム可能な最小エレメント幅	1 msec.			✓			
国コード指定のキーボード	US					✓	✓

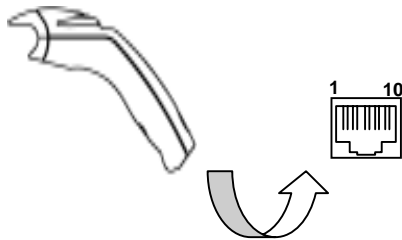
## 付録 C

### スキャナのピン・アサインメント

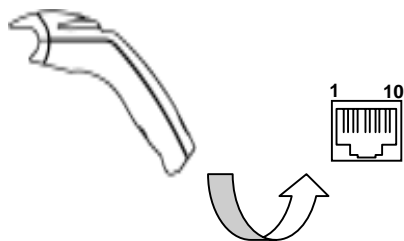
MS5145 スキャナのインターフェースは 10 ピン・モジュラ・ジャックを端末に使用しています。ラベルに記載されているシリアル番号は工場出荷時に有効インターフェースを表示しています。

MS5145-14 (RS-232)	
ピン	機能
1	グラウンド
2	RS-232 送信 出力
3	RS-232 受信 入力
4	RTS 出力
5	CTS 入力
6	DTR 入力
7	NC
8	NC
9	+5V DC
10	シールド・グラウンド

MS5145-9 (OCIA)	
ピン	機能
1	グラウンド
2	NC
3	NC
4	RDATA
5	RDATA リターン
6	クロック In
7	クロック Out
8	Clock in Return/Clock out Rtrn
9	+5V DC
10	シールド・グラウンド



MS5145-11 (IBM 468X/469X)	
ピン	機能
1	グラウンド
2	NC
3	NC
4	NC
5	NC
6	NC
7	IBM B- 送信
8	IBM A+ 受信
9	+5V DC
10	シールド・グラウンド

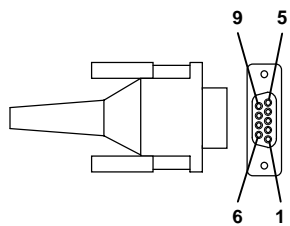


MS5145-37 (USB/KBW)	
ピン	機能
1	グラウンド
2	D-
3	D+
4	PC データ
5	PC クロック
6	KB クロック
7	PC+5V/V_USB
8	KB データ
9	V_EXT
10	シールド・グラウンド

### ケーブルのコネクタ構成

- パワー・ジャック内蔵の RS232 PowerLink ケーブル [ MLPN 55-55000A ]

RS232 PowerLink ケーブルは端末に 9 ピン D タイプ・コネクタがホスト用についています。



9 ピン D タイプ・コネクタ

標準 PowerLink ケーブル	
ピン	機能
1	シールド・グラウンド
2	RS-232 送信 出力
3	RS-232 受信 入力
4	DTR 入力
5	パワー/シグナル・グラウンド
6	ライトペン・データ
7	CTS 入力
8	RTS 出力
9	+5V DC*

- PowerLink の AC アダプタが PowerLink ケーブルに差しこまれた場合、このピンには+5V が無効となります。このピンはホストがスキャナに+5V を供給する場合に使われます。

## 付録 C (続き)

### • キーボード・インターフェースの PowerLink とアダプタ・ケーブル

[MLPN 55-55002A]

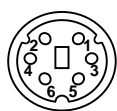
キーボード・インターフェースの PowerLink ケーブルは「Y」ケーブルで、端末の一方が 5 ピン DIN メス・コネクタが、他方に 6 ピン・ミニ DIN オス・コネクタがついています。



キーボードインターフェース  
PowerLink ケーブル

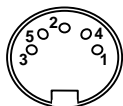


5 ピン DIN メス



6 ピン DIN オス

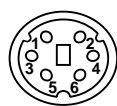
Metrologic 社は、一方に 5 ピン DIN オス・コネクタがつき、他方に 6 ピン・ミニ DIN メス・コネクタのついているアダプタ・ケーブルを供給しています。



5 ピン Din オス



アダプタ・ケーブル



6 ピン・ミニ DIN メス

アダプタ・ケーブルの適切な端末を PowerLink ケーブルに接続し、キーボードと PC のキーボード・ポートに必要な端末を接続します。 キーボード・インターフェースの PowerLink とアダプタ・ケーブルのピン・アサインメントは下記の通り。

#### POWERLINK ケーブル

5 ピン・メス DIN	
ピン	機能
1	キーボード・クロック
2	キーボード・データ
3	NC
4	パワー・グラウンド
5	+5 V DC

6 ピン・オス。ミニ DIN	
ピン	機能
1	PC データ
2	NC
3	パワー・グラウンド
4	+5 V DC
5	PC クロック
6	NC

#### アダプタ・ケーブル

5 ピン・オス DIN	
ピン	機能
1	PC クロック
2	PC データ
3	NC
4	パワー・グラウンド
5	+5 V DC

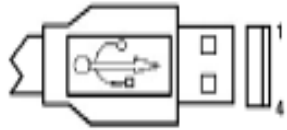
6 ピン・メス・ミニ DIN	
ピン	機能
1	キーボード・データ
2	NC
3	パワー・グラウンド
4	+5 V DC
5	キーボード・クロック
6	NC

## 付録 C (続き)


---

- **USB PowerLink ケーブル** [ MLPN 55-55165A ]

USB PowerLink ケーブルは端末に USB A タイプのコネクタがついています。 .



USB A タイプ・コネクタ

USB PowerLink ケーブル	
	
ピン	機能
1	PC+5V/V_USB
2	D-
3	D+
4	グラウンド



## 付録 D

### 保証とクレーム排除

#### 限定保証

MS5145 スキャナは Metrologic 社の中国のスジョー工場で製造しています。MS5145 スキャナは製造日付から 1 年間の限定保証付きで、Metrologic 社は MS5100 スキャナはすべて、材料、ワークマンシップおよび設計に欠陥のないことを保証します。また、生産とラベル表示は、米国連邦、州および市の法律、規則、法令に準拠してすべて製造されていることを保証し、表示ラベルにそれを記載しています。

本保証書は Metrologic 社の判断で限定した修理・製品の交換を決めています。修理の必要な製品はメトロロジック・ジャパン（株）にご返送ください。

本保証書で製品の修理がカバーされることが決まった場合、ディストリビューター、ディーラー/再販業者あるいは一般消費者とにかかわらず、Metrologic 社は製品の修理をするか、機能的に同等商品と交換するかを決め、修理サービス料、返送運賃代の請求なしにその商品を返却します。

Metrologic 社の独断で、製品の機械的、電気的、コンピューター・システムと併用の使用および誤用から生じた損傷、および乱用、誤用、怠慢、不適切な取付、事故等で生じた損害については、本限定保証はカバーしません。また、Metrologic 社の修理部門や公認の修理センター以外の手によって製品の内部が開けられた場合も保証書は無効となります。

本限定保証書は所有権に関することを除いて、表現されたか暗示されたかに関わらず、すべての保証または約束事に代わるものである。また、それはユニフォーム・コマースナル・コードのもとで、あるいは、習慣または行為から生じる特別目的の市場性および適合性の保証は限定することなく明確に除外する。ここに規定される権利および救済は排他的であり、その他のいかなる権利あるいは救済に代わるものである。

Metrologic 社はいかなる場合も、人および財産の間接的またはその結果としての損害、付帯的な損害または他の損害、あるいは、事業または財産への影響、あるいは、直接的または間接的に製品による他の損害または経費に対しても、この保証の中で記述された以外は責任を負わない。なお、Metrologic 社はいかなる場合も、製品の責任にたいしては Metrologic 社へ支払われた製品の実際額を超えるものではない。Metrologic 社はここに記述された製品にいかなる変更をも加える権利を保有します。

#### メトロロジック・ジャパン（株）

東京都台東区東上野 3 - 1 4 - 8

☎110-0015

#### 顧客サービス

Tel: 03-3839-8511

Fax: 03-3839-8519

Email: info@jp.metrologic.com

Website: www.jp.metrologic.com

## 付録 E

---

### 通知

本装置はテストされ、FCC 規則のパート 15 に応じ、デジタル装置のクラス B の範囲内に準拠するものです。これらの範囲は、装置が住宅地区で操作される場合、有害な電波障害から合理的に保護するために設けられています。この装置は無線周波数エネルギーを生成し、使用し、および、それを放射します。インストラクション・マニュアルに従って取付けされず、また、使用されない場合、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。また、特別な取付け方をして電波障害が起こらないという保証もありません。電波障害についてはこの装置の電源をオン・オフにすることによって確認できますが、もしこの装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を引き起こす原因になった場合、ユーザーは下記の 2, 3 の対策をもって、この装置の電波障害を直すことを勧めます。

- 受信アンテナを違った方向に向けてたり、場所を変更してみる
- 装置と受信機の間隔をもっと開けてみる
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに装置を接続してみる
- ディーラーもしくは経験豊かなラジオ・テレビの技術者に相談する

本装置に非公認に変更あるいは修正を加えることはこの装置を操作するユーザーの権限を無効にします。

本装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。本装置の操作は下記の二つの条件を満たすものとし、(1) 本装置は有害な電波障害を起こさない、それと(2) 仮に望ましくない電波障害が生じた場合でも本装置を使用の際には受信するその電波障害も受け入れなければならない。

### 通知

このクラス B デジタル装置はカナダの ICES-003 に準拠しています。 .

### 注意

使用手順の制御、調節、実行は本書に記載された以外の使い方をした場合、結果として危険なレーザー光が生じる可能性があるため、いかなる状況においても顧客はレーザー・スキャナを修理サービスすることのないようにお願いします。スキャナが作動しない場合でもレーザー光線を直接見ることは避けてください。スキャナの内部を開けて装置を覗き込むことも避けて下さい。そうすれば危険なレーザー光を露出する結果となり、レーザー装置を備えた光学器具の使用は目にたいする危険をつのらせます。

### Remarque

Cet appareil numérique de la class B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

### Attention

L'emploi de commandes, réglages ou procédés autres que ceux décrits ici peut entraîner de graves irradiations. Le client ne doit en aucun cas essayer d'entretenir lui-même le scanner ou le laser. Ne regardez jamais directement le rayon laser, même si vous croyez que le scanner est inactif. N'ouvrez jamais le scanner pour regarder dans l'appareil. Ce faisant, vous vous exposez à une rayonnement laser mortel. L'emploi d'appareils optiques avec cet équipement laser augmente le risque d'endommagement de la vision.

### Achtung

Die Verwendung anderer als der hier beschriebenen Steuerungen, Einstellungen oder Verfahren kann eine lebensgefährliche Laserstrahlung hervorrufen. Der Kunde sollte unter keinen Umständen versuchen, den Laser-Scanner selbst zu warten. Sehen Sie niemals in den Laserstrahl, selbst wenn Sie glauben, daß der Scanner nicht aktiv ist. Öffnen Sie niemals den Scanner, um in das Gerät hineinzusehen. Wenn Sie dies tun, können Sie sich einer lebensgefährlichen Laserstrahlung aussetzen. Der Einsatz optischer Geräte mit dieser Laserausrüstung erhöht das Risiko einer Sehschädigung.

**Attenzione**

L'utilizzo di sistemi di controllo, di regolazioni o di procedimenti diversi da quelli descritti nel presente Manuale può provocare dei raggi laser pericolosi per la vita. Il cliente non deve assolutamente tentare di riparare egli stesso lo scanner laser. Non guardate mai nel raggio laser, anche se credete che lo scanner non sia attivo. Non aprite mai lo scanner per guardare dentro l'apparecchio. Se tuttavia lo fate, potete esporvi a dei raggi laser pericolosi per la vita. L'uso di apparecchi ottici con questo equipaggiamento laser aumenta il rischio di danni alla vista.

## 付録 F

---

### パテント情報

“METROLOGIC 社製品は次ぎに記載した一つ以上の米国特許でカバーされています。

米国特許番号;

5,260,553; 5,340,971; 5,424,525; 5,484,992; 5,525,789; 5,528,024;  
5,616,908; 5,627,359; 5,661,292; 5,777,315; 5,789,730; 5,789,731;  
5,811,780; 5,828,048; 5,925,870; 6,029,894; 6,209,789; 6,227,450;  
6,283,375;

物理的にユーザの手に渡った METROLOGIC 社製品に表され、また、構成されている特定の装置、回路、デバイスが通常の意図した目的のみに使用される場合、または METROLOGIC 社のライセンス権が諸条件、証書契約、制限規定に従った場合の暗示認可を除いて、上記にリストされた第三者の特許を含む METROLOGIC 社および第三者知的所有権 (第三者の権利が METROLOGIC 社に合法的にライセンスを受けているか如何に拘わらず)の下で、表現、暗示、禁反言、あるいはその他いかなる条件下でもライセンス権またはサブ・ライセンス権は与えられない。

他に世界的な特許出願中です。

## インデックス

---

### A

AC 入 / 出力 ..... 2, 3, 4, 6  
アクセサリ ..... 2  
承認 ..... 13, 20, 30  
アサインメント  
（ピン） ..... 2, 4, 6, 7, 26, 27  
音声 ..... 9, 11, 19  
マルチリード ..... 19

### B

バーコード ..... 1, 3, 8-10, 15, 16, 18, 19  
バー幅 ..... 12  
ブザー ..... 3, 4, 6, 8-11, 14-16, 19, 22

### C

ケーブル ..... 1-4, 6-8, 14, 17, 19, 26, 27  
通信 ..... 17, 18, 21, 26, 27  
交換可能な  
ピン・アサインメント ..... 26, 27  
powerlink ..... 1-4, 6-8, 26, 27  
注意 ..... 4, 6, 13, 30  
CDRH ..... 20  
CodeGate® ..... 1, 3, 8  
通信 ..... 4, 9, 10, 17-22  
準拠 ..... 4, 6, 28, 30  
設定 ..... 1, 2, 9, 11, 14, 18, 26  
電圧 ..... 6, 14, 20  
顧客サービス ..... 2, 28

### D

DC 変圧器 ..... 20  
デコード能力 ..... 19  
デフォルト設定 ..... 3, 21  
深度 ..... 1  
設計仕様 ..... 19  
クレーム排除 ..... 28

### E

パワー・サプライ ..... 3-7, 14, 26

## F

失敗表示.....9, 11, 14  
失敗モード .....11

## G

緑色 LED .....3, 4, 8, 10, 19

## H

ホスト.....3, 4, 6, 7, 10, 14, 17, 26

## I

表示 .....8, 9, 10, 19  
入力電圧.....4, 6, 20  
取り付け.....2, 4, 6, 28  
インターフェース.....1, 19, 26

## K

キーボード・インターフェース  
.....1, 2, 6, 19, 26, 27

## L

ラベル.....13  
光レベル.....20  
ライトペン .....1, 19, 21, 22, 26  
光源 .....19

## M

メンテナンス.....13

## N

通知 .....30

## O

動作電圧 .....20  
動作温度 .....20  
レーザー光窓.....8, 12, 13

## インデックス

---

### P

パーツ.....2, 8  
パワー・サプライ.....3, 4, 6, 7, 26  
プログラム・モード.....3, 17, 18

### Q

クイック・スタート.....3

### R

異常音.....9, 10, 11, 22  
赤色 LED.....3, 4, 6, 8, 9, 10  
修理.....11, 28  
RMA.....28  
RS-232.....1, 17, 18, 19, 21, 26

### S

読取ライン.....19  
読取速度.....19  
SELV.....4, 6  
サービス.....11, 28

仕様.....19

### T

音.....9, 19  
AC アダプタ.....20  
トラブルシューティング 14, 15, 16,  
17

### U

USB.....1, 28, 30

### V

換気.....20  
視覚.....10  
電圧.....20

### W

保証.....28  
重量.....19  
ウィンドウ.....3, 8, 13